

# MP-44S AUTOBOTS COMMANDER OPTIMUS PRIME

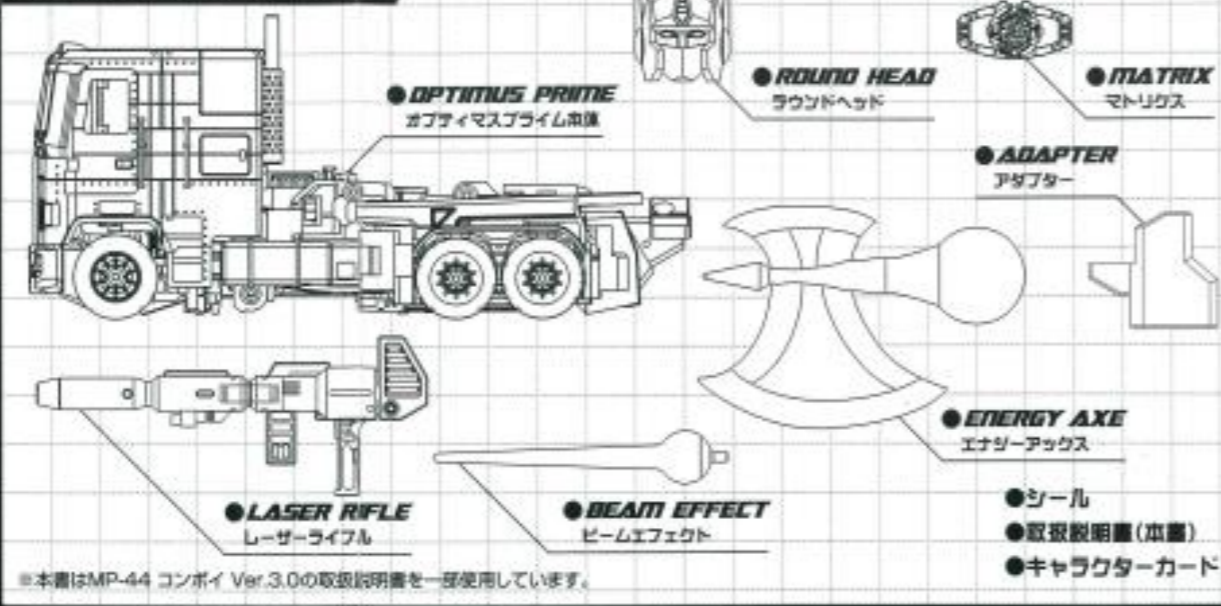
トランスフォーマー マスターピース  
オートボット/総司令官 オプティマスプライム

## 「取扱説明書」

この度は、タカラトミー「トランスフォーマー マスターピース MP-44S オートボット/総司令官 オプティマスプライム」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

※写真及びイラストは、商品と異なる場合があります。

## CONTENTS



## 注意(ちゅうい)

●この商品は対象年齢15才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。●小さな部品があります。誤って飲み込むなど思わぬ事故の危険がありますので小さなお子様には絶対に与えないでください。●尖っている部品があります。取り扱いには十分注意してください。●付属の武器で人をつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。●ロボットの関節などに指をささないようご注意ください。●ぶつけたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●思わぬ事故の危険がありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

〈使用上の注意〉○ご使用前に「取扱説明書(本書)」をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。○本体を上から押し付けしないでください。本体が倒れたり、部品が外れたりする場合があります。○本体をディスプレイする時は、本体が倒れる恐れがありますので不安定な場所にディスプレイしたり、安定性の悪いポージングでディスプレイしないでください。○本体を持ち運ぶ際は取付けた部品等を持たず、本体をしっかりと持って持ち運んでください。○製品の仕様上、変形の動作を行うと彩色部が剥がれたり、色移りする場合があります。また変形時や部品のつけ外しの際に部品が白くなる事があります。予めご了承ください。○本製品を樹脂製の家具等の上に長時間置くとか色が移ったり、貼り付いたりする場合があります。○包装材は開封後すぐに捨ててください。

対象年齢 15才以上

TAKARA TOMY

## 株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

タカラトミーでは「子どもに安全で楽しいおもちゃを」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの容積やイラストなどと異なる場合がございます。ご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お買付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください  
受付時間 月曜～金曜 10～17時 土曜～日曜 10～16時

0570-041031

本製品のお客様サポートは日本国内での購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。  
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

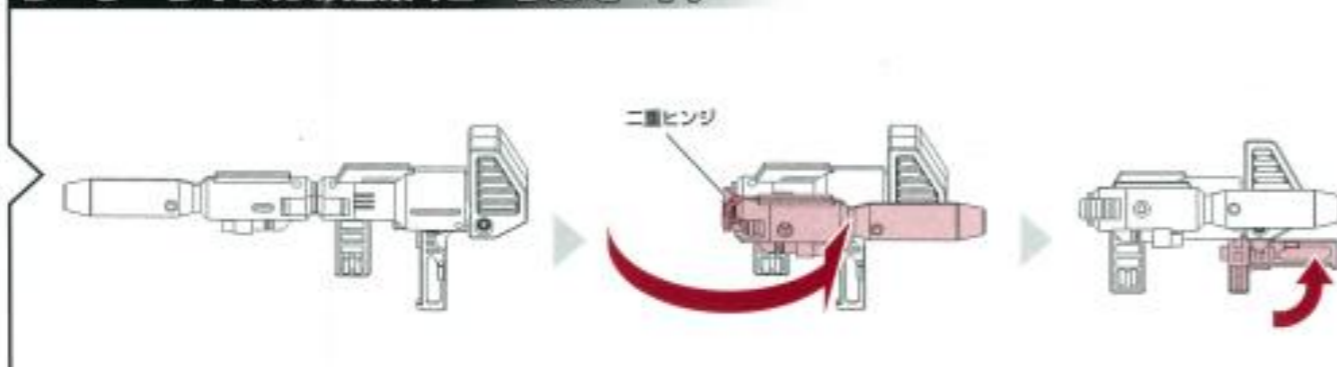
このタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

## サイドミラーの展開(ビークルモード)



サイドミラー(左右)を起こします。  
ビークルモード完成

## レーザーライフルの懸架(ビークルモード)

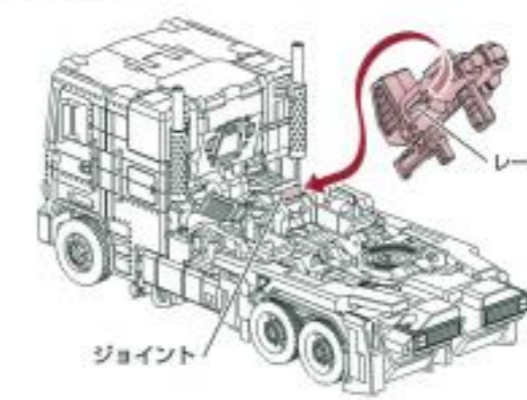


パレルを中央の二重ヒンジで180°折りたたみます。  
グリップを90°折りたたみます。



ライフルホルダーを起こします。

後ろから見た図



ライフルホルダーのジョイントにレーザーライフルのパレルを合わせ、スライドさせて取り付けます。

## ロボットモードへの変形

※レーザーライフルは取り外した状態で変形を始めます。



トランスフォームスタート!!

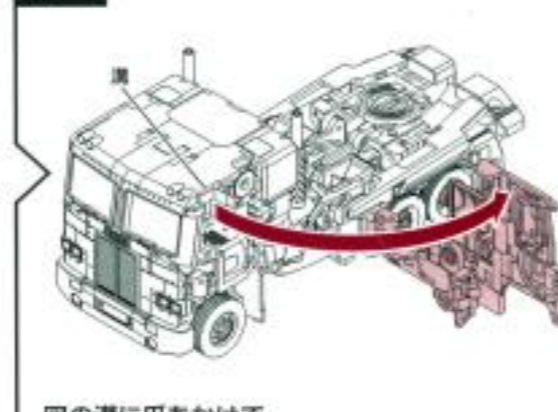
### 01 左側の変形

※右側も01～08の変形を同様に行います。



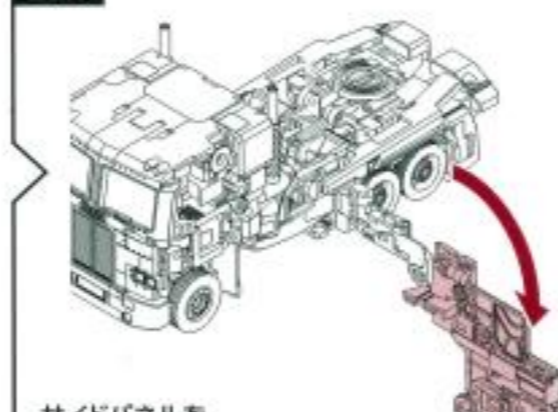
サイドミラーを折りたたみます。

### 02



凹の溝に爪をかけてサイドパネルを横へ90°開きます。

### 03



サイドパネルを下に90°倒します。

### 04



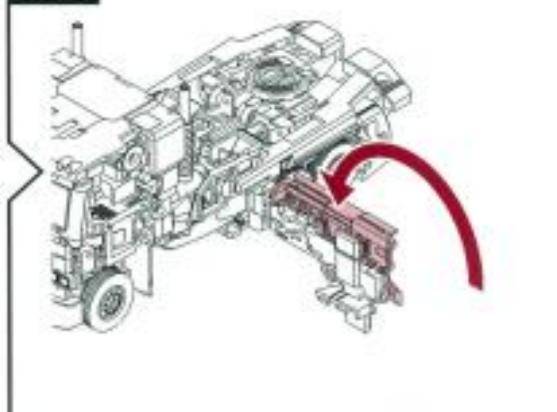
タンクを反対側へ180°起こします。

### 05



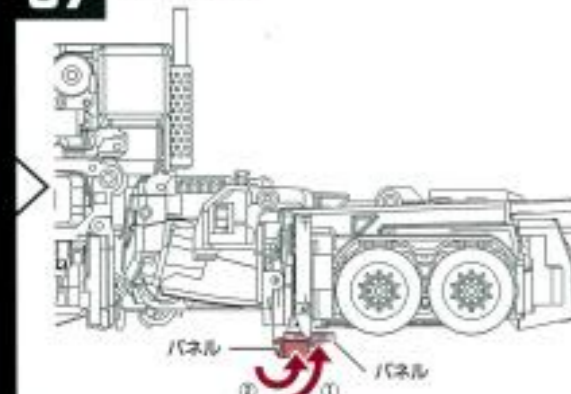
サイドパネルを中央の二重ヒンジで180°折りたたみます。

### 06



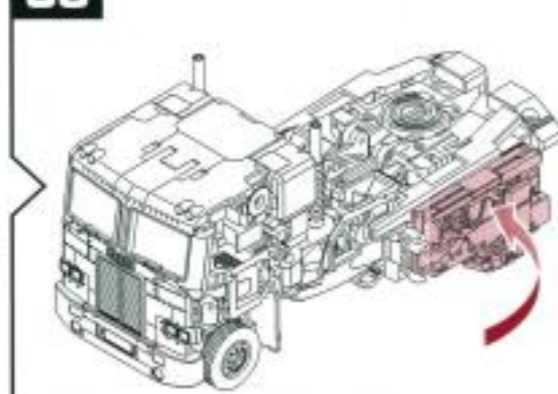
サイドパネルを180°折りたたみます。

### 07 横から見た図



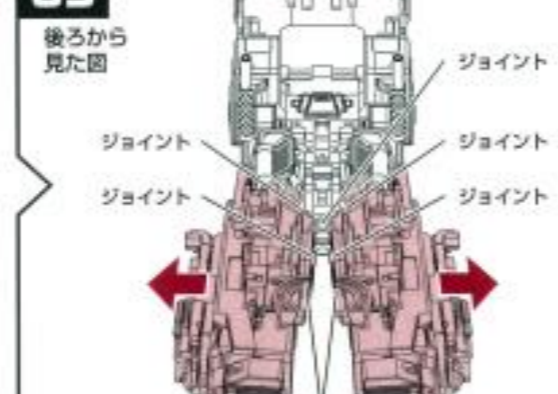
①パネルを後方に90°折りたたみます。  
②パネルを後方に180°折りたたみます。

### 08



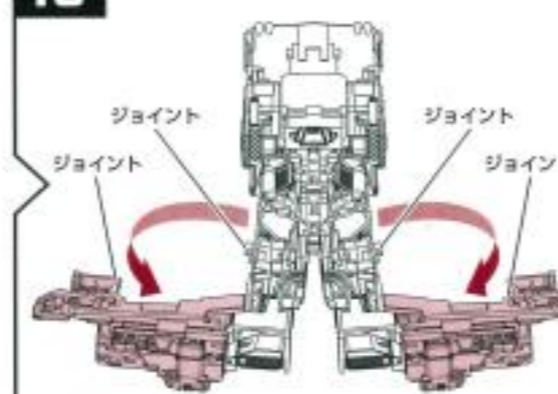
サイドパネルを後方に折りたたみます。  
※右側も01～08の変形を同様に行います。

### 09



後ろから見た図  
ジョイントを外し、車体後部を開きます。

### 10



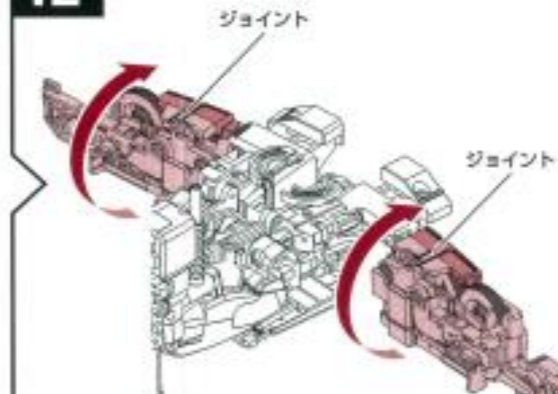
ジョイントを外し、車体後部側面を左右に開きます。

### 11 横から見た図



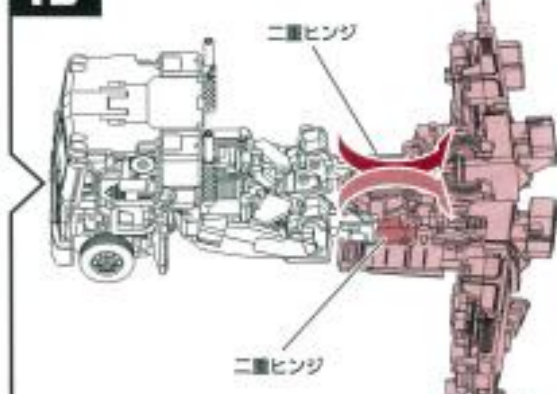
ふくらみパネルを起こします。

### 12



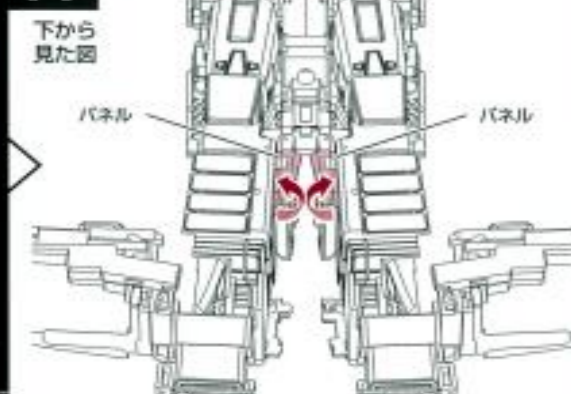
サイドパネル全体を矢印の方向に180°回転させます。

### 13



膝の二重ヒンジで脚部を伸ばします。

### 14



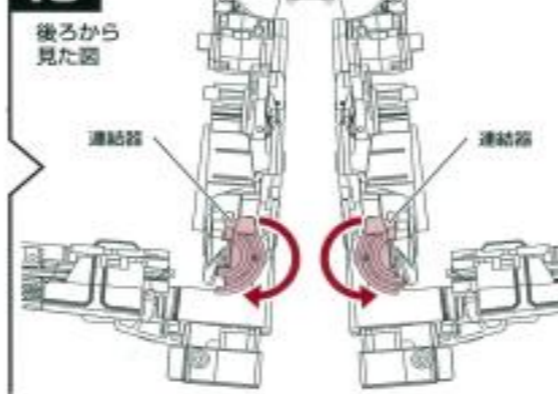
パネルを90°起こします。

### 15 横から見た図



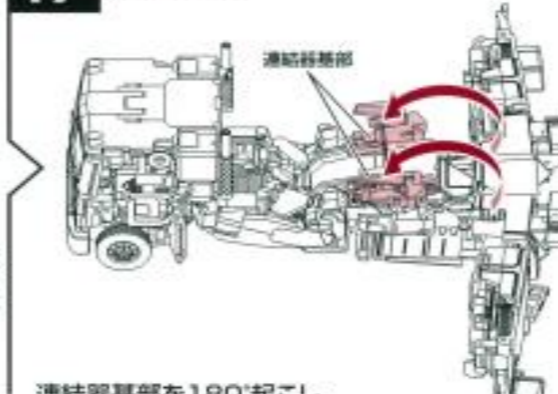
膝横アーマーを180°起こし、ジョイントで固定します。

### 16



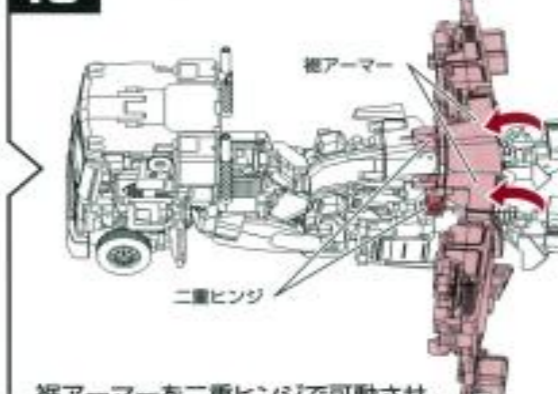
連結器を矢印の方向に180°回転させます。

### 17 横から見た図



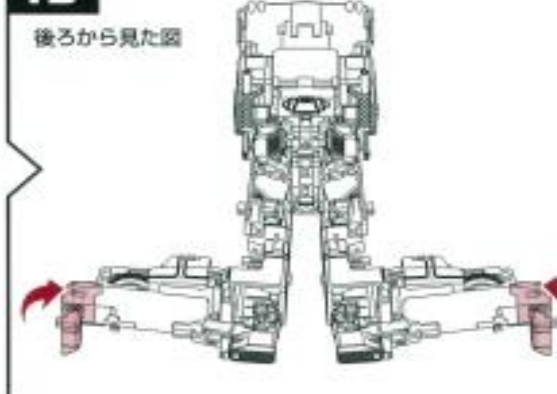
連結器基部を180°起こし、ふくらみ部分にします。

### 18



膝アーマーを二重ヒンジで可動させ、ふくらみ部分と面を合わせます。

### 19



膝横アーマーを90°起こします。

**20**

タンクを90°起こします。

**21**

タンクを本体側へ倒し、ジョイントで固定します。

**22**

尻パネルを90°起こします。

**23**

脚部外側を閉じ、ジョイントで合わせます。

**24**

パネルを閉じます。

**25**

リアバンパー基部を90°倒します。

**26**

①パネルを90°起こします。  
②リアバンパーを90°起こします。

**27**

リアバンパーを90°回転させます。

**28**

リアバンパーを90°起こします。

**29**

ルーフ中央のパネルを開きます。

**30** 横から見た図

フロントバンパーを手前方向に開きます。

**31**

フロントバンパー左右とライト部左右を90°起こします。

**32**

ライト部裏側のパーツを二重ヒンジで伸ばします。

**33**

フロントバンパー全体を90°倒します。

**34** 横から見た図

ルーフ左右のパネルを二重ヒンジで持ち上げます。

**35**

フロントウィンドウを左右に開きます。

**36**

腕部を図のように外側に開きます。

**37** 下から見た図

タイヤ基部をスライドさせます。

**38** 下から見た図

タイヤがついているシャーシパーツ全体を上方向に持ち上げてジョイントを外します。

**39** 前から見た図

マトリクスチャンバーを仰えながらシャーシを前に押し出してから左右に開きます。

**40** 下から見た図

タイヤを内側に収納します。

**41**

腰部左右パーツを起こします。

**42** 後ろから見た図

バックパックを倒します。

**43**

パネルを開きます。

**44** 横から見た図

フックを外します。

**45**

マトリクスチャンバーを展開します。

**46** 後ろから見た図

腕部を付け根のヒンジで図のように開きます。

**47** 横から見た図

フロント部を背中方向に回転させます。

**48**

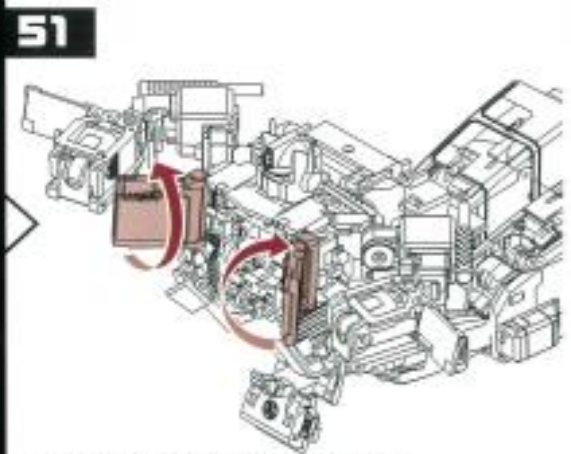
フロント部を起こし、フックで固定します。

**49** 前から見た図

パネルを二重ヒンジで肩の上まで移動します。

**50**

首元のパネルを倒し、頭部を倒します。



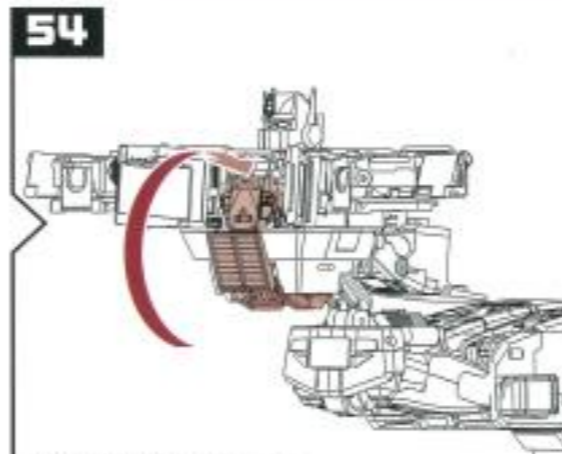
フロントウィンドウを矢印の方向に180°回転させます。



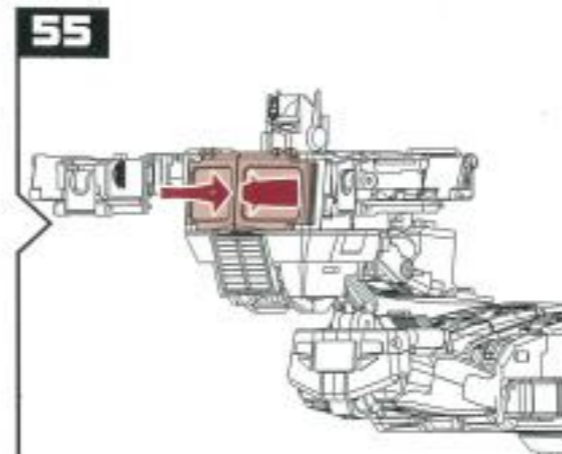
脇腹パーツを開いて、ジョイントで固定します。



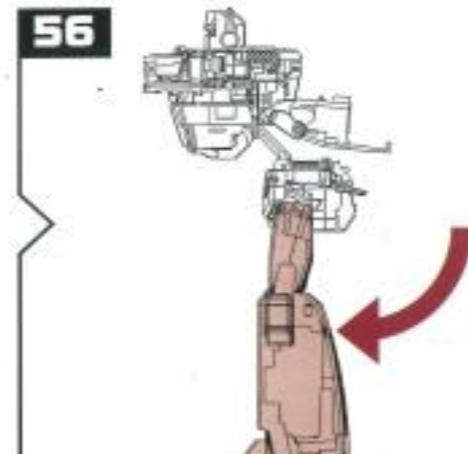
フックを起こします。



マトリクスチャンバーを胸部に押し込みます。



フロントウィンドウを閉じます。



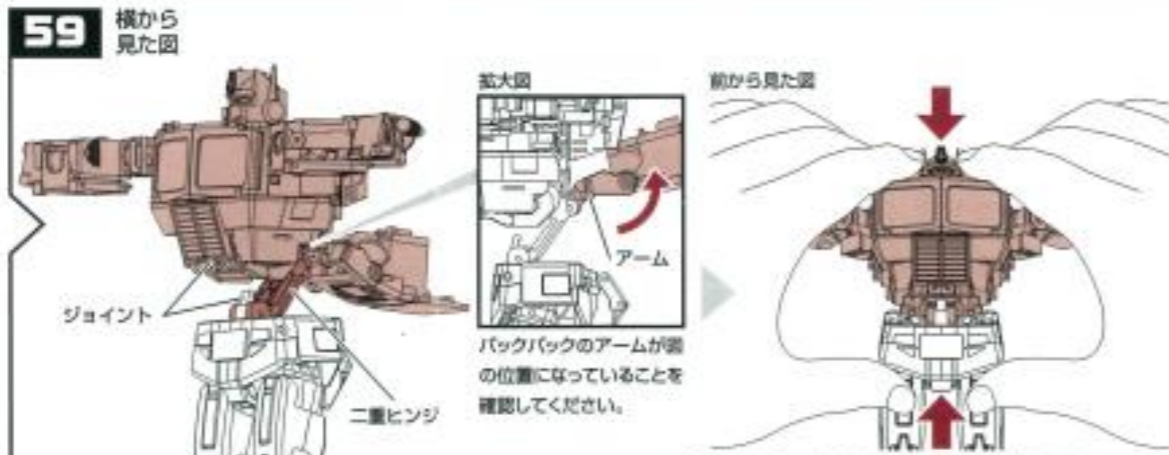
脚部を下ろします。



①左右のサイドスカートを開きます。  
②ライフルホルダーを開きます。



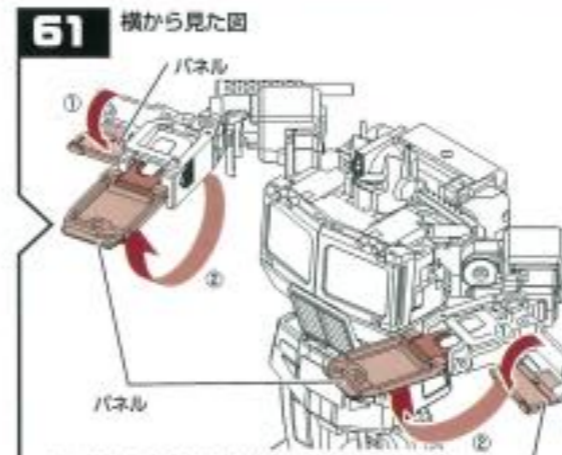
リアスカートを下ろします。



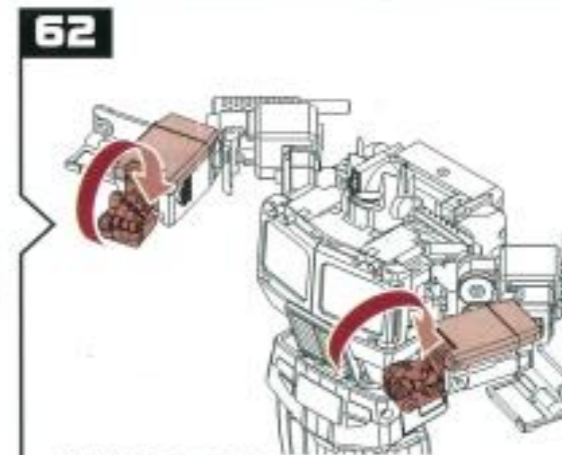
バックバックの\_armが腕の位置になっていることを確認してください。  
腰部の二重ヒンジで折りたたみ、ジョイントで固定します。ジョイントしてください。



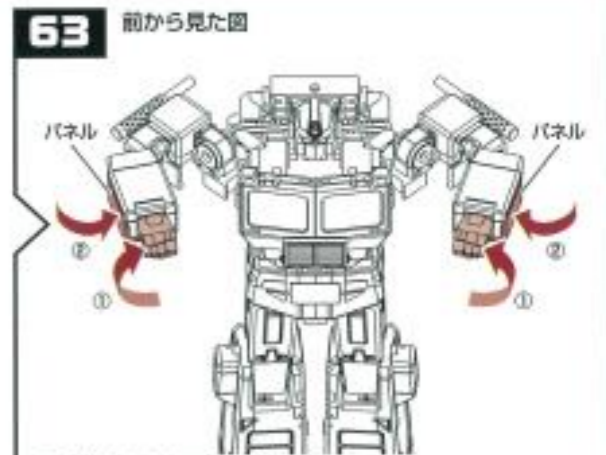
バックバックを起こし、ジョイントで固定します。



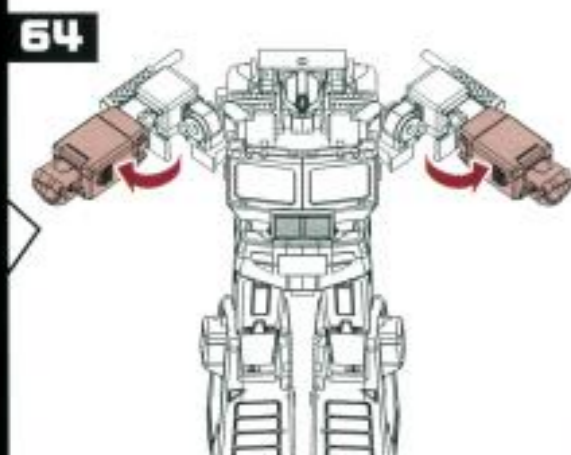
①パネルを開きます。  
②パネルを180°開きます。



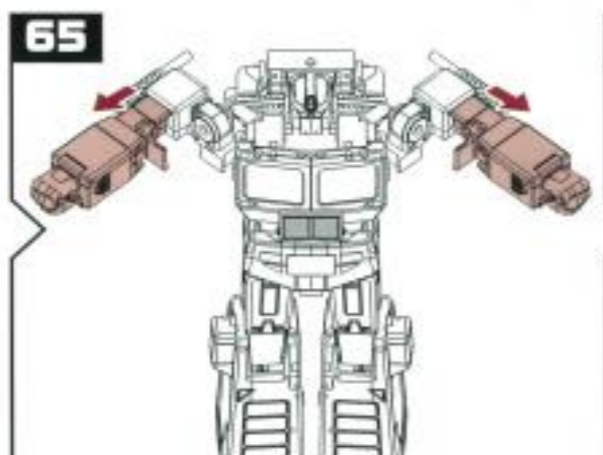
パネルをさらに180°可動させて拳を出します。



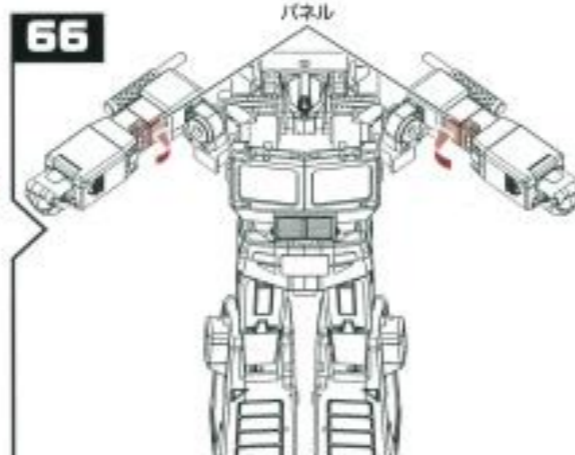
①拳を180°回転させます。  
②パネル部分全体を開きます。



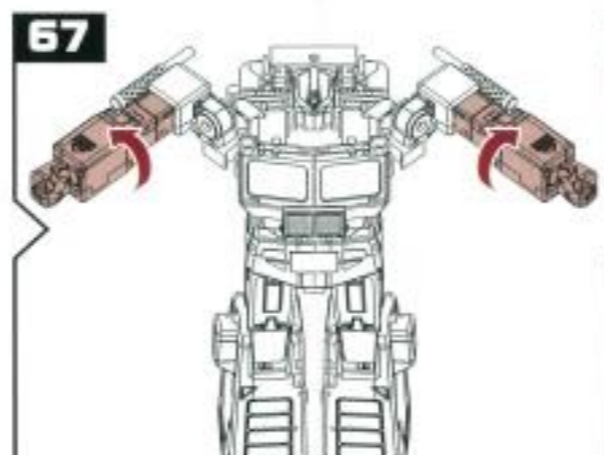
前胸部を伸ばします。



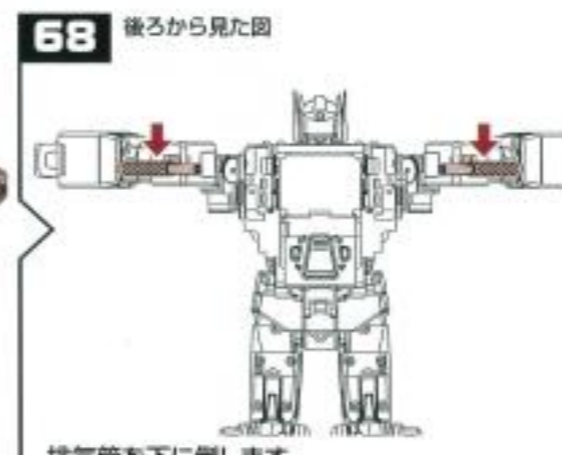
上腕部をスライドさせ、引き出します。



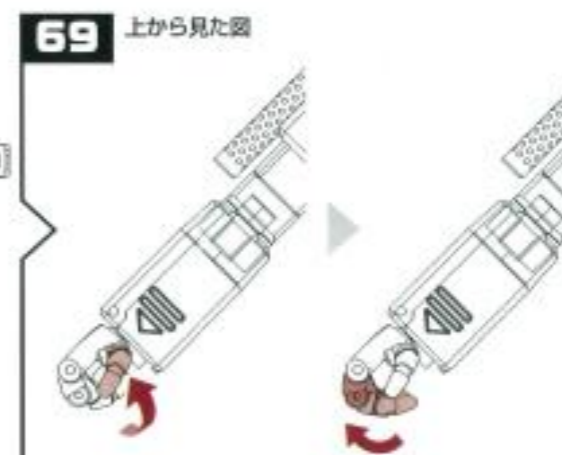
パネルを閉じます。



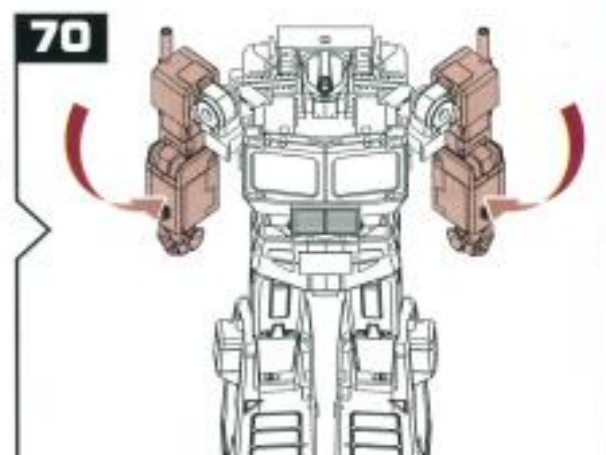
腕部を90°回転させます。



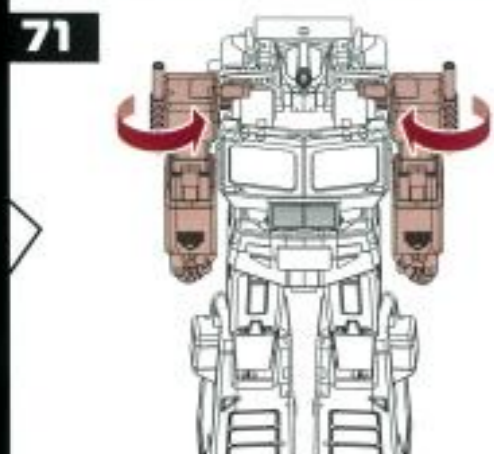
排気管を下に倒します。  
※排気管が上腕部スライドのロックになっています。ビークルモードに戻す場合は必ず元に戻してください。



親指を起こし、4本の指を開きます。  
※反対側の指も同様に可動させます。



腕部を下ろします。



肩の付け根を胴体内部に押し込みます。

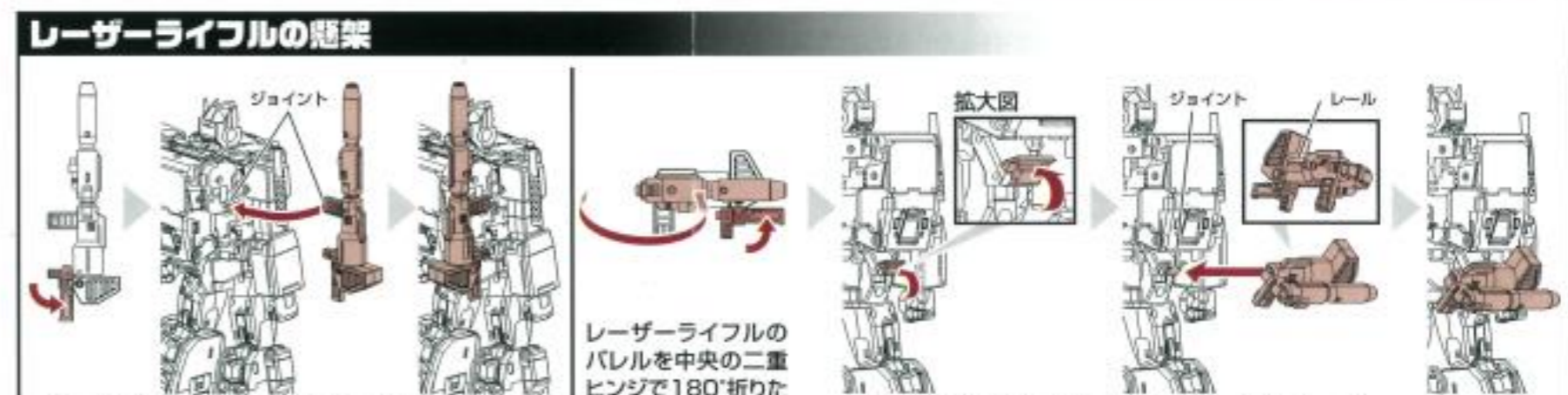


**ロボットモード完成**  
変形前の状態へ戻す場合は番号を逆にたどってください。



**ラウンドヘッドへの交換**

装着してある頭部を手前にスライドして取り外し、ラウンドヘッドを取り付けます。

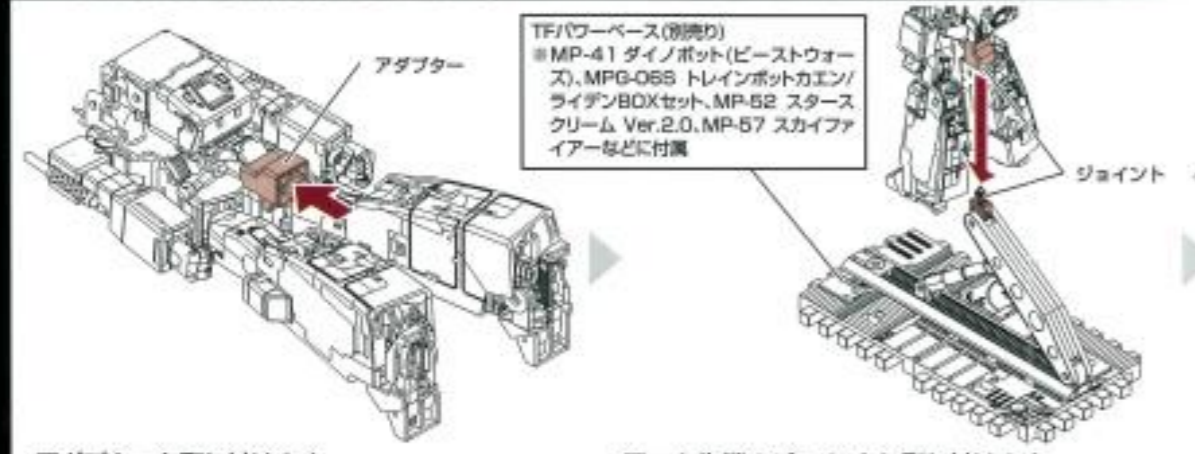


**レーザーライフルの懸架**

グリップを後方に90°折たたみ、フォアグリップのジョイントをバックバック側面の穴にジョイントで固定します。

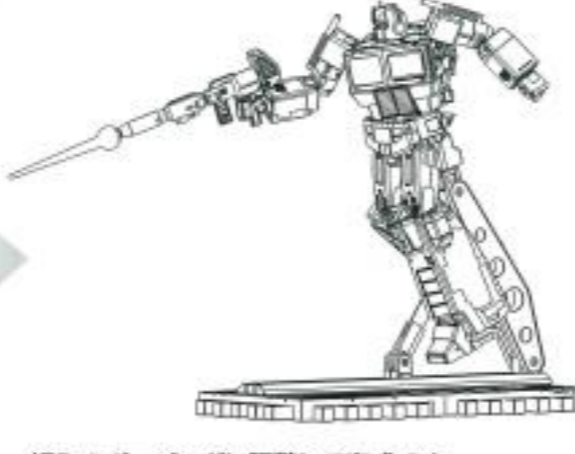
レーザーライフルのパレルを中央の二重ヒンジで180°折たたみ、グリップを90°折たたみます。  
踵後部のライフルホルダーを起こし、ジョイントにレーザーライフルのレールを合わせ、スライドさせて取り付けます。

**ロボットモードのディスプレイ**



アダプターを取り付けます。

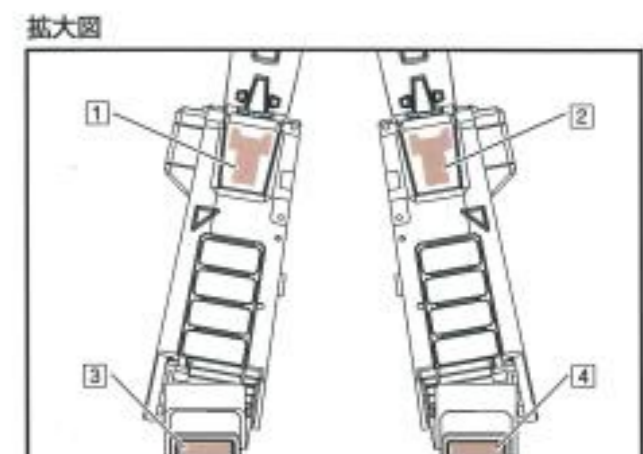
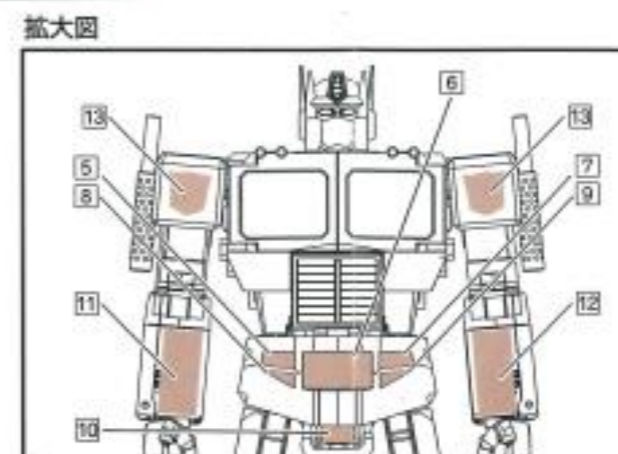
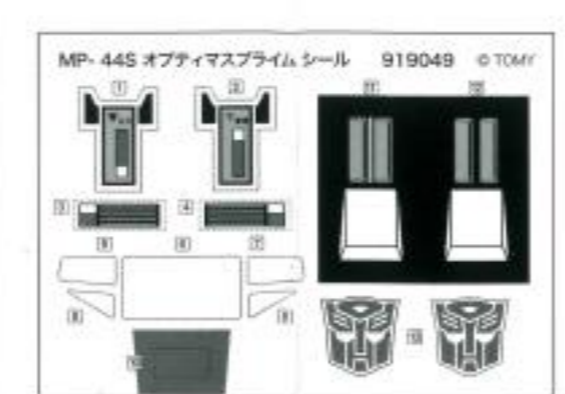
アーム先端のジョイントに取り付けます。



好みのポーズに調整して完成です。

**シールの貼り方**

右図の番号を参考にシールを貼ることができます。



THE TRANSFORMERS™  
FORMERS™  
MASTERPIECE  
取扱説明書

MP-44S AUTOBOTS COMMANDER

OPTIMUS PRIME

トランスフォーマー マスターピース  
オートボット/総司令官 オプティマスプライム



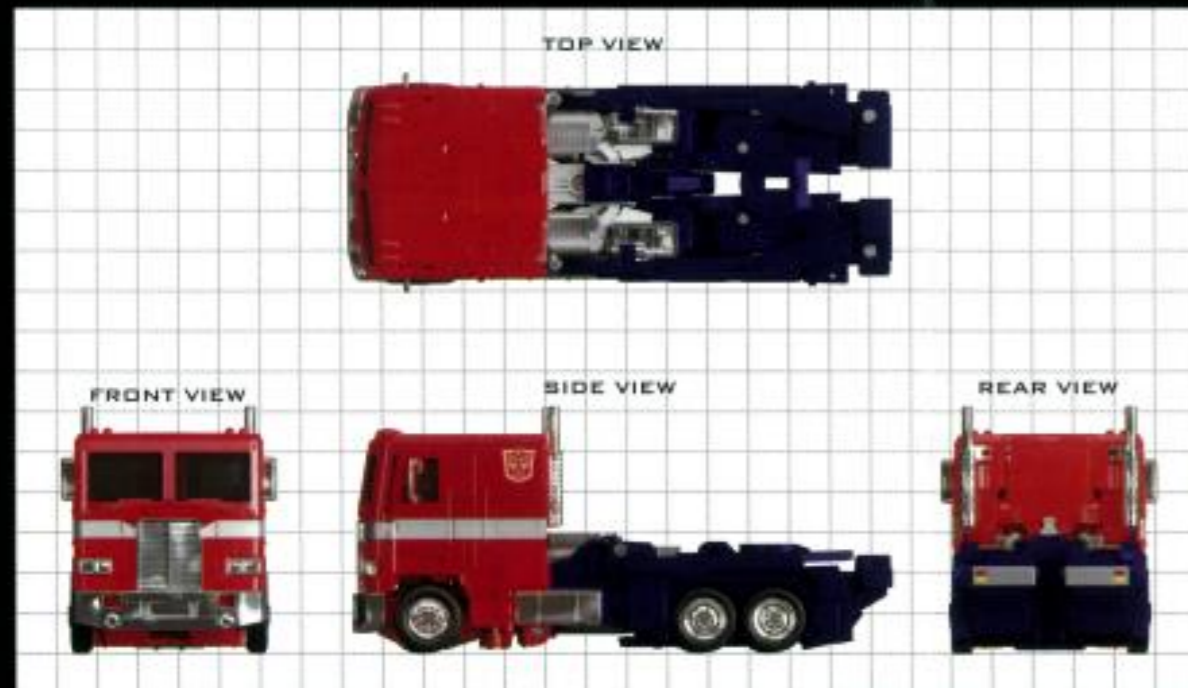
TRAILER TRUCK トレイラートラック

VEHICLE MODE

生命再生機がオプティマスプライムの為に選んだ地球製ビークルは、トレーラートラック。トレーラーは自律した3つのコンポーネントにより構成されており、その最も重要なものが心を持つオプティマスユニット、すなわちトレーラーヘッドを構成するロボット本体となる。

近年のハリウッド版実写映画ではフレイトライナー製のトラクターがモデルとされることが多い3軸6輪のトレーラーヘッドは、ボンネットを持たないキャブオーバー型。その外観は地球製ビークルに擬態しているが、地上はもとより水上走行なども可能なスーパービークルである。大型車両ながら速力は他のオートボットに劣ることはなく、最新型のトレーラーであるディセプティコン・モーターマスターとの対決(正面衝突)にも勝利するタフさも備える。もうひとつのコンポーネントであるコンテナには仲間を積載可能。全ダイノボット部隊を収容するほどの容積を誇る。

日本に上陸した80年代初頭、「コンボイ」という言葉は洋画のヒットからトレーラーの代名詞として広く使われており、ダイアクロン「バトルコンボイ」から引き続き名が継承されたことは不思議ではなかった。最も大きく強力なオートボットという意味でも、陸の王者トレーラートラックはオプティマスプライムにとり最善の選択だと言えるだろう。



OPTIMUS PRIME オプティマスプライム

ROBOT MODE

- 役割……総司令官
- 座右の銘……「自由とは全知的生命体の権利である」
- プロフィール

かつてオライオン・バックスという名の若者だったオプティマスは、メガトロン凶弾に倒れアルファトロンの手でオートボットのリーダー「オプティマスプライム」へと生まれ変わった。彼こそはあらゆる知的生命体の権利である自由と平和を護るため戦う守護者であり、知力において他に類する者はいない賢者である。強力かつ出力調整による精密射撃も可能なレーザーライフルを携帯し、射撃の腕前も一流。シャーマンダムでは、右腕からレーザーアックスを展開して破壊大帝メガトロンと渡り合った。全米で1986年に公開された映画「トランスフォーマー ザ・ムービー」にて、その胸部にはリーダーの証、マトリクスが納まっていることがあきらかになった。オートボットのリーダーはマトリクスを後継者へと託し、その内部は過去のリーダーの意識が遺されることで叡智の集合体となっていた。叡智の光はユニクロンを滅し、宇宙へも浄化する力を秘めている。

様々なメディアで幾度も死を迎えながら甦ってきたオプティマスプライム。40年にわたるトランスフォーマーの歴史において、彼こそが最も偉大な存在であることは揺るぎない事実であろう。その人気故に玩具は複数の金型(増し型)が作られたうえ、長期にわたり幾度も再生産されているため、細かなバリエーションはシリーズ随一。全てを象徴する永遠不滅のキャラクターとして、オプティマスプライムはこれからもトランスフォーマーブランドの核に鎮座するのである。



Strength:	10
Intelligence:	10
Speed:	8
Endurance:	10
Rank:	10
Courage:	10
Fireblast:	8
Skill:	10

※データ・説明等は設定上のものです。



LASER RIFLE レーザーライフル WEAPON

オプティマスプライムが常に携帯する主武器が、レーザーライフルである。銃の名手でもある彼は要領を完璧に使いこなしており、レーザーの跳躍を計算したアクロバティックな射撃や、出力を調整してダメージをコントロールするなどお手の物となる。大型のライフルは、フォアグリップを備えたアニメ設定のイメージを再現。アニメ本編で見た、バックバック側に装着した状態も再現可能となっている。さらに折りたたみ構造を採用し、腰後ろにセットするほか、ビークルモードではキャブの後ろに搭載することもできる。

レーザーライフルの装備



ビームエフェクトの装着



ENERGY AXE エナジーアックス WEAPON

アニメ第1作における冒険3巻はパイロットフィルムに近い位置づけの初期製作品数ということもあり、のちに続くシリーズとは異なる描写が散見される。なかでも差違のひとつが、一部のみならず多くのオートボットの手首に備わる特殊機能であろう。そして第2巻で一変しか披露されていないオプティマスプライムにおける手首の機能が、このエナジーアックスなのだ。アックスを展開しエナジーメイスを使うメガトロンと一騎討ちを繰り上げた名勝負は印象深く、現在ではレーザーライフルと並んでアックスがオプティマス代表する武器となった。玩具のみならずハリウッドムービーにおいても、オプティマスプライムは斧を所持することが少なくない。

エナジーアックスの装備



MATRIX マトリクス WEAPON

オプティマスプライムの胸部に収まる、オートボットの歴代リーダーに受け継がれる英知の証が、マトリクスと呼ばれるキーアイテムである。アニメに初めてマトリクスが登場したのは1986年全米公開のアニメ映画「トランスフォーマー ザ・ムービー」。死に瀕したオプティマスは、胸部パネルを開き、神祕の輝きを放つマトリクスを初めて開示したのである。さらにマトリクスの原典を求めて歴史を遡れば、マーベルコミックス版におけるトランスフォーマーを誕生させるプログラム「クリエーション・マトリクス」へと行き着く。40年の歳月により進化を遂げたトランスフォーマー世界において、深遠なるマトリクスの概念もまた、常に進化し続けている。

マトリクスの収納

